

# 事業評価票

141	道路台帳業務支援システム専用端末の更新 (建設局道路管理部／一般会計)	事業開始	平成 22 年度
		事業終期	平成 33 年度

## 【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか	
<p>○ 道路台帳は、道路に関する基本事項を一定の様式に統一して図面と調書に集約した、道路管理行政における最も基本的な台帳である。</p> <p>○ 道路台帳図面の素材の製造中止や、紙の冊子の劣化が進んでいることから、機能保全や都民サービス確保を目的として電子化に着手した。</p>	
根拠法令等	道路法第28条

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
<p>○ 平成25年度までに、システム構築、各建設事務所等への専用端末の配備及び道路台帳の一部である道路台帳平面図の電子化を完了した。</p> <p>○ 同平面図の閲覧・複写をシステムでの対応としたことで、窓口業務の迅速化等都民サービスの向上に寄与している。</p>	

3 どのような課題や問題点があったか	
<p>○ 道路台帳業務支援システム専用端末は、購入から7年が経過し、動作不良等の不具合が増加している。</p> <p>○ 道路台帳は業務における使用頻度はもとより、都民からの閲覧・複写の要望も非常に多く、速やかな機器の更新が必要である。</p>	

4 局として、事業をどうしていきたいか																											
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																								
<p>○ 道路台帳業務支援システム専用端末を更新し、上記不具合の解消を図る。また、契約方法を購入からリース契約に移行することで、端末故障等への迅速な対応や安定的な都民サービスの提供を可能とする。</p> <p>○ リース契約とすることで、予算の平準化とトータルコストの縮減を図る。</p>																											
<p>&lt;契約方法の変更に係る経済比較表&gt; (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>購入経費</th> <th>リース経費</th> <th>保守経費</th> <th>処分経費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リース</td> <td>-</td> <td>3,279</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3,279</td> </tr> <tr> <td>購入</td> <td>2,464</td> <td>-</td> <td>917</td> <td>335</td> <td>3,716</td> </tr> <tr> <td>増△減</td> <td>△2,464</td> <td>3,279</td> <td>△917</td> <td>△335</td> <td>△437</td> </tr> </tbody> </table> <p>※端末の耐用年数が4年であることから、いずれの経費も4年間の均等割りで平準化している。また、端末リース経費には保守経費等を含む。</p>					購入経費	リース経費	保守経費	処分経費	計	リース	-	3,279	-	-	3,279	購入	2,464	-	917	335	3,716	増△減	△2,464	3,279	△917	△335	△437
	購入経費	リース経費	保守経費	処分経費	計																						
リース	-	3,279	-	-	3,279																						
購入	2,464	-	917	335	3,716																						
増△減	△2,464	3,279	△917	△335	△437																						
歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	7,562 千円																						
	28年度予算額	— 千円		28年度予算額	9,193 千円																						
	29年度見積額	— 千円		29年度見積額	10,392 千円																						

## 【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
<p>○ 本システムは、各種台帳情報の一元的な管理や複写業務の所要時間短縮が可能になるなど、道路管理の利便性向上に資するものである。</p> <p>○ 一方で、専用端末は電算機としての耐用年数を超過し不具合が生じていることから、速やかな機器の更新が求められる。</p>	

6 29年度予算で、どのように対応したか			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<p>○ 購入からリース契約に移行することで、日々のメンテナンスの効率化や将来的なコストの縮減が図られることから、見積額のとおり計上する。</p>			
歳入	29年度予算額	— 千円	
歳出	29年度予算額	10,392 千円	